

WEEKLY BULLETIN

OSAKA
NAMBA

大阪難波ロータリークラブ週報



(国際ロータリー会長 マーク・ダニエル・マコー) 2019-2020年度 国際ロータリーのテーマ 「ロータリーは世界をつなぐ」
(第2660地区ガバナー 四宮 孝郎)

今日の卓話	次回の卓話	ロータリー4つのテスト
<p>2月13日 (木)</p> <p>テーマ 「自己紹介～ロータリー入会一年を経て～」</p> <p>卓話者 中川博之会員</p>	<p>2月20日 (木)</p> <p>テーマ 「献血の現状」</p> <p>卓話者 植田宏和様</p> <p>卓話担当者 中川静夫会員</p>	<p>言行はこれに照らしてから</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

第31回例会 本日のプログラム

- 開 会 (点鐘) 通算第2084回例会
- ・ロータリーソング 「ROTARY」
 - ・ソングリーダー 右田竹郎会員
 - ・来客紹介 友好委員
 - ・ストレッチ

会 食

- ・歌とピアノ 木下裕子
- ・会長報告 西野文秀会長
- ・幹事報告 立花英司幹事
- ・委員会報告 各委員長
- ・出席報告 出席委員
- ・ニコニコ箱報告 S A A
- ・卓話

閉 会 (点鐘)

♪ R-O-T-A-R-Y

R-O-T~A-R-Y, That spells Rotary.
ROT~ARY is known on land and sea.
From North to South~,
From East to West~,
He profits most~ who serves the best;
R-O-T~A-R-Y~, that spells Rotary.

ニコニコ箱報告

前回の合計	¥40,000
本日までの累計	¥2,734,500 (102%達成)
2月末の予算額	¥2,660,000

出席報告

	前回 2月6日	3週前 1月16日
会 員 総 数	60名	
出 席 会 員 数	39名	出席免除を除く MUを含む
出 席 率	73%	修正出席率79.62%

大阪難波ロータリークラブ 例会日時 毎週木曜日 12:30
 創立 1976年8月5日 例会場 スイスホテル南海大阪7階 芙蓉の間
 会長: 西野文秀 幹事: 立花英司 会報・雑誌委員長: 森 圭司 事務局: 安部亜希子
 事務局 〒542-0076 大阪市中央区難波5-1-60 スイスホテル南海大阪5階
 TEL 06-6632-3956 FAX 06-6632-3957 e-mail osaka-namba@poem.ocn.ne.jp

2月は「平和と紛争予防/紛争解決月間」です

前回の記録 第30例会 2月6日(木)

★来客紹介：三島友好委員

ゲストスピーカー
今井 紀明



★会長報告：西野会長

1. 本日のお客様は、ゲストスピーカーの今井紀明様です。お時間の許す限りごゆっくりお過ごしください。
2. コロナウイルスが流行しています。皆様、手洗いを徹底してください。
3. 日本酒について、別紙ご参考にしてください。

★幹事報告：立花幹事

1. 本日例会終了後、定例理事会を開催させていただきますので、理事役員の方は御出席ください。

★委員会報告：ありません

★ニコニコ箱報告：本間副SAA

- 西野文秀：7ヶ月が終わり、あと5ヶ月会長職、頑張ります。
- 立花英司：皆様コロナウイルスに気を付けてください。
- 荻原 奨：誕生日、自祝。
- 伴井敬治：誕生日、自祝。
- 岡西豊博：誕生日、自祝。先週例会欠席お詫び。
- 右田竹郎：先週例会欠席お詫び。
- 三島敏宏：誕生日、自祝させていただきます。
- 本間一成：先週欠席お詫び。

★卓話 テーマ「孤立する10代の若者にセーフティーネットをつくる」

卓話者 今井 紀明様
卓話担当者 林 博之会員

今井と申します。今、大阪で8年目のNPOをさせていただいています。本日はどうぞよろしくお願いたします。
年間1300人ほど不登校、高校中退、いわゆるやんちゃ系の子だったりとか、今静かでエネルギーを持ってない若者がいてるんですけれ

ども、その中に林さんにお世話なってる者がいます。そういう子たちを今、就職や住むところを世話しています。その辺の話をしていきたいと思います。

自己紹介をしたいと思います。最近マラソンをやりながら、支援を受けながら、企業のプラットフォームを作る会社だったり、30代で若手の起業家向けにオンラインサロンなどを作って仕事をしています。非営利団体のDXPですが、年間八千万の寄付をいただいて、企業ではできない10代のサポートなどを行っています。

私たちが、目指してるところはというと、一人ひとりの若者が自分の未来に希望が持てるという創業当時のビジョンです。実際サポートしてる生徒たちが、どんな子たちか、10代で高校中退、不登校、経済貧困家庭、先生ともめたりと言う生徒たちにフォーカスを当てています。

学校にいけなくなった生徒たちが、現在50万人います。今、20年間で不登校の数と言うのは、この少子化なのにナンバーワンで5年連続増えています。なので率も増えてます。通信制高校の定時制高校がありますが、現在通信制高校は生徒数が伸びてます。どういった生徒がいるかと言うと、不登校の経験者4割、高校中退者が6割となっております。

最近の労働者不足と言われる中、通信制高校の就職率が4割と言う感じになってます。こういう生徒たちにアプローチして就職のお世話などを行っています。

不登校の生徒たちはマスコミではネガティブな印象で放送されてますけれども、実際はそんな事はありません。

2年間ゲームばかりしてた不登校の子が現在東京で一部上場のゲームに携わる仕事をしています。

弊社では寄付をいただきながら、どういったことをやっているかといいますと、学校の中でつながる場、仕事につながる場、住む場所をサポートするようなことをしています。私の前の仕事は、商社マンをしてました。商社マンがなぜこのNPO立ち上げたかといいますと、16年前にイラクでの人質事件のことがきっかけになります。もともとNGOで子供たちの支援などをしておりまして、その際にイラ

クに渡ることになりました。
当時中東での最初の人質事件になりました。
その後いくつか人質事件が続くのですが、
最初の事件でした。9日間ぐらい拘束され
ました。理由としてはアメリカのスパイだ
とすることで拘束されました。この事件で引き
こもりになったわけではなく、帰ってきてか
らの報道で引きこもりになりました。自己責
任など自作自演等々の罵声を浴びせられ、
それらの中傷報道等で引きこもりになりま
した。その後、高校の担任に願書を書いて
もらって大学に行くことができました。ここ
で救われることになります。
当時大学の後輩とかが、僕の話をお聞き
に聞いてくれることがよくあり、それがき
っかけで2年ぐらいかけて精神的に回復し
てきました。

その後、引きこもりの経験などを生かして
今のNPOを立ち上げることができました。
最後にお話ししたかったのですが、DXPに
関しては、今3年間で何をめざすかと言
うと、関西が強いんですけども東京の企
業とつながっていきたいと思っています。
後は今オンラインの相談者を1万人にす
ること。住ませるというミッションで今
シェアハウスが二件あるんですけども、
これを百件できるようにしていきたいと思
っています。子供たちは可能性の塊だと思
っています。この少子化の中で僕たちが
できることを一緒にやっていければと思
いますので、これからも宜しくお願い致
します。本日はありがとうございます。



本日お誕生日を迎えられる
会員各位。



2月 会員夫人誕生日 おめでとうございます



2月 4日 桜井 明会員夫人 愼子様

2月20日 西原芳博会員夫人 綾子様

2月26日 東村賀文会員夫人 幸代様

2月29日 川口栄計会員夫人 千景様

2月度定例理事会議事録

- 1.三姉妹合同例会について、4月10日～12日に釜山西北RCがホストとなり開催され、詳細が決まりましたら皆様にお知らせするとの報告があった。
- 2.社会奉仕委員会の献血活動について、献血バスが3月10日合同衛生(株)へ、3月11日(株)大五へ出張してご協力いただくことが承認された。また、まいどなんば献血ルームでは3月9日～22日献血週間として活動を行うことが報告された。
- 3.上半期収支報告があり、承認された。
- 4.1月16日例会時、川口会長エレクトより説明のあった、青少年奉仕委員長理事職への回復の件、RAC設立準備委員会再開の件、クラブ活性化委員会をクラブ戦略計画委員会へ名称変更の件が承認された。

平和と紛争予防 紛争解決月間に寄せて



国際ロータリー第2660地区 ガバナー **四宮 孝郎**
(大阪西南RC)

「戦争によってもたらされる苦しみを和らげるよりも、戦争を防ぐために何とかしたいと思いました」

2005～07年度のロータリー平和フェローであるRobert Opiraさんの言葉です。

昨年の推計では全世界で起こった紛争と暴力により、6,800万人以上が家を失い、故郷を追われたと言われてい
ます。残念ながら現在ではその数字は7,000万以上になっていると考えられています。そして、その半数以上が子
どもたちです。このような到底受け入れられることができない現実に対し、ロータリーでは異文化交流を通じて相
互理解の心を育て、紛争解決のスキルを備えた人材の育成を通じて平和な世界作りを促進しています。つまりロー
タリーは、平和は「人」から始まると考えています。

具体的には平和フェローシップ(奨学金)を通じて、世界平和の担い手となる人材を育て、平和推進者の世界的
ネットワークを築いています。

2002年に創設されて以来、ロータリー平和センターで学ぶ約130名の若者が毎年世界中から選ばれ学んでいます。
今まで約1,300人以上の奨学生が巣立って行きましたが、これらのフェローは現在115か国以上で、国連機関、各国
の政府機関、NGO団体等の国際機関でリーダーシップを発揮し活躍されています。当地区からも2名の平和フェロ
ーを輩出致しました。

また一方でロータリー財団のグローバル奨学生として、6重点分野の1つである「平和と紛争予防」に数多くの
人々を送り出してきました。彼らが将来、平和構築と紛争回避に多大な貢献をされると確信しています。

世界中のロータリークラブでの取り組みでは、具体的に以下のようなプログラムも実施されています。

①新天地での世界の支援

カナダ郊外のロータリークラブでは戦火を逃れたシリア難民2家族を受け入れ、政府による支援制度が認められ
るまでの間、地元の人たちに受け入れられるよう生活支援をしています。

②難民に教育の機会を

ナイジェリアではロータリークラブが難民の人たちに、現地の大学と連携して教育の機会と、食料の提供を通じ
ての生活支援により、テロ集団に対して間接的な戦いに挑んでいます。

③差別と迷信に立ち向かう

タンザニアでは「先天性白皮症」の患者に対する迷信による差別が行われ殺戮された例が多くありました。ロー
タリークラブでは、医療従事者の研修、医療機器の提供を通じて患者の人たちを偏見と差別から守る活動をして
います。

これらの事例はほんの一部に過ぎませんが、日本のロータリーとしてできることは一人でも多くのロータリアン
が「平和と紛争予防」への理解を深め、それを実践できる人たちの育成をサポートすることが求められています。ロ
ータリー財団が実施している「平和フェローシップ」と「グローバル奨学金制度」をはじめとするロータリーの各プ
ログラムに対して、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

これからの予定

- 2月14日(金) IM第4組会長・幹事会
- 2月15日(土) 2020-21年のための地区チーム研修セミナー
- 2月20日(木) 例会
- 2月23日(日)～26日(水) 地区補助金を利用した国際奉仕活動 於: フィリピンセブ島
- 2月27日(木) 例会
- 2月29日(土) 地区ロータリー財団補助金管理セミナー
- 3月5日(木) 例会・臨時総会・定例理事会
- 3月7日(土) 2020-21年度のための会長エレクト研修セミナー(PETS) 及び懇親会
- 3月12日(木) 例会